

出版助成図書一覧

(1991年度～2000年度)

助成年度		著者	著書	刊行日	出版社
1991年度	1	小檜山ルイ	アメリカ婦人宣教師—来日の背景とその影響	1992年6月	東京大学出版会
	2	加藤洋子	アメリカの世界戦略とココム1945—1992—転機に立つ日本の貿易政策—	1992年7月	有信堂高文社
1992年度	3	中野勝郎	アメリカ連邦体制の確立—ハミルトンと共和制	1993年5月	東京大学出版会
	4	佐々木卓也	封じ込めの形成と変容—ケナン、アチソン、ニッウェとトルマン政権の冷戦戦略	1993年5月	三嶺書房
1993年度	5	竹沢泰子	日系アメリカ人のエスニシティー—強制収容と補償運動による変遷	1994年6月	東京大学出版会
1994年度	6	森本あんり	ジョナサン・エドワーズ研究—アメリカ・ピューリタニズムの存在論と救済論	1995年7月	創文社
	7	宇佐美滋	米中国交樹立交渉の研究	1996年1月	国際書院
1995年度	8	中野 聡	フィリピン独立問題史—独立法問題をめぐる米比関係史の研究1929—46年	1997年1月	龍溪書舎
1996年度	9	樋口映美	アメリカ黒人と北部産業—戦間期における人種意識の形成	1997年6月	彩流社
1997年度	10	上岡伸雄	ヴァーチャル・フィクション—マルチメディア時代のアメリカ文学	1998年5月	国書刊行会
1998年度	11	馬 暁華	幻の新秩序とアジア太平洋—第二次世界大戦期の米中同盟の軌轢	2000年3月	彩流社
	12	村田晃嗣	大統領の挫折—カーター政権の在韓米軍撤退政策	1998年12月	有斐閣
1999年度	13	黒沢真里子	アメリカ田園墓地の研究—生と死の景観論	2000年11月	玉川大学出版部
	14	和田光弘	紫煙と帝国—アメリカ南部タバコ植民地の社会と経済	2000年6月	名古屋大学出版会
2000年度	15	泉 淳	アイゼンハワー政権の中東政策	2001年6月	国際書院
	16	袁 克勤	アメリカと日華講和—米・日・台関係の構図	2001年3月	柏書房

(2001年度～2006年度)

助成年度		著者	著書	刊行日	出版社
2001年度	17	加藤一誠	アメリカにおける道路整備と地域開発－アパラチアの事例から	2002年5月	古今書院
	18	小野直樹	戦後日米関係の国際政治経済分析	2002年4月	慶應義塾大学出版会
	19	谷川建司	アメリカ映画と占領政策	2002年6月	京都大学学術出版会
	20	古矢 旬	アメリカニズム－「普遍国家」のナショナリズム	2002年5月	東京大学出版会
2002年度	21	待鳥聡史	財政再建と民主主義－アメリカ連邦議会の予算編成改革分析	2003年3月	有斐閣
	22	篠原初枝	戦争の法から平和の法へ－戦間期のアメリカ国際法学者	2003年5月	東京大学出版会
2003年度	23	佐藤隆之	キルパトリック教育思想の研究－アメリカにおけるプロジェクト・メソッド論の形成と展開	2004年4月	風間書房
2004年度	24	水野剛也	日系アメリカ人強制収容とジャーナリズム－リベラル派雑誌と日本語新聞の第二次世界大戦	2005年9月	春風社
	25	岡山 裕	アメリカ二大政党制の確立－再建期における戦後体制の形成と共和党	2005年6月	東京大学出版会
2005年度	26	天野 拓	現代アメリカの医療政策と専門家集団	2006年7月	慶應義塾大学出版会
	27	黒崎 輝	核兵器と日米関係－アメリカの核不拡散外交と日本の選択1960-1976(フロンティア現代史)	2006年3月	有志舎
2006年度	28	南川文里	「日系アメリカ人」の歴史社会学－エスニシティ、人種、ナショナリズム	2007年6月	彩流社
	29	杉山直子	アメリカ・マイリティ女性文学と母性－キングストン、モリスン、シルコウ	2007年6月	彩流社
	30	村田勝幸	”アメリカ人”の境界とラティーノ・エスニシティ－「非合法移民問題」の社会文化史	2007年6月	東京大学出版会
	31	水野由美子	「インディアン」と「市民」のはざままで－合衆国南西部における先住社会の再編過程	2007年6月	名古屋大学出版会
	32	平体由美	連邦制と社会改革－20世紀初頭アメリカ合衆国の児童労働規制	2007年6月	世界思想社
	33	松本悠子	造られるアメリカ国民と「他者」－「アメリカ化」時代のシティズンシップ	2007年8月	東京大学出版会

(2007年度～2010年度)

助成年度		著者	著書	刊行日	出版社
2007年度	34	西川 賢	ニューディール期民主党の変容－政党組織・集票構造・利益誘導	2008年8月	慶應義塾大学出版会
	35	石川敬史	アメリカ連邦政府の思想的基礎－ジョン・アダムズの中央政府論	2008年7月	溪水社
	36	工藤安代	パブリックアート政策－芸術の公共性とアメリカ文化政策の変遷(文化政策のフロンティア)	2008年6月	勁草書房
	37	西山隆行	アメリカ型福祉国家と都市政治－ニューヨーク市におけるアーバン・リベラリズムの展開	2008年7月	東京大学出版会
	38	野口貴公美	行政立法手続の研究－米国行政法からの示唆	2008年6月	日本評論社
	39	倉科一希	アイゼンハワー政権と西ドイツ－同盟政策としての東西軍備管理交渉	2008年6月	ミネルヴァ書房
2008年度	40	木下 昭	エスニック学生組織に見る「祖国」－フィリピン系アメリカ人のナショナリズムと文化	2011年4月	不二出版
	41	森 聡	ヴェトナム戦争と同盟外交－英仏の外交とアメリカの選択1964－1968	2009年9月	東京大学出版会
	42	楢田久代	初期アメリカ連邦構造－内陸開発政策と州主権	2009年11月	北海道大学出版会
	43	土屋 由香	親米日本の構築－アメリカの対日情報・教育政策と日本占領	2009年10月	明石書店
	44	北 美幸	半開きの”黄金の扉”－アメリカ・ユタヤ人と高等教育	2009年4月	法政大学出版局
2009年度	45	多湖 淳	武力行使の政治学 単独と多角をめぐる国際政治とアメリカの国内政治	2010年2月	千倉書房
	46	菅原和行	アメリカ都市政治と官僚制－公務員制度改革と政治過程	2010年10月	慶應義塾大学出版会
	47	竹田 有	アメリカ労働民衆の世界－労働史と都市史の交差するところ	2010年9月	ミネルヴァ書房
	48	李 東俊	未完の平和－米中和解と朝鮮問題の変容 1969－1975年	2010年12月	法政大学出版局
2010年度	49	富澤克美	アメリカ労使関係の精神史－階級道徳と経営プロフェッショナリズム	2011年10月	木鐸社
	50	高田馨里	オープンスカイ・ディプロマシー－アメリカ軍事民間航空外交	2011年7月	有志舎
	51	高梨良夫	エマソンの思想の形成と展開－朱子の教義との比較的考察	2011年4月	金星堂
	52	安武秀岳	自由の帝国と奴隷制－南北戦争前史の研究	2011年5月	ミネルヴァ書房

(2011年度～2016年度)

助成年度		著者	著書	刊行日	出版社
2011年度	53	川名晋史	基地の政治学－戦後米国の海外基地拡大政策の起源	2012年5月	白桃書房
	54	平良好利	戦後沖縄と米軍基地－「受容」と「拒絶」のはざままで1945－1972年	2012年10月	法政大学出版局
	55	千々和泰明	大使たちの戦後日米関係－その役割をめぐる比較外交論1952－2008年	2012年6月	ミネルヴァ書房
	56	新田啓子	アメリカ文学のカルトグラフィ－批評による認知地図の試み	2012年4月	研究社
2012年度	57	飯山雅史	アメリカ福音派の変容と政治－1960年代からの政党再編成	2013年7月	名古屋大学出版会
	58	橋川健竜	農村型事業とアメリカ資本主義の胎動－共和国初期の経済ネットワークと都市近郊	2013年6月	東京大学出版会
	59	松原宏之	虫喰う近代－1910年代社会衛生運動とアメリカの政治文化	2013年9月	ナカニシヤ出版
2013年度	60	岡田泰平	「恩恵の倫理」と植民地－アメリカ植民地期フィリピンの教育とその遺制	2014年9月	法政大学出版局
	61	服部 朗	アメリカ少年法の動態	2014年3月	成文堂
	62	佐藤千登勢	アメリカの福祉改革とジェンダー－「福祉から就労へ」は成功したのか？	2014年6月	彩流社
2014年度	63	早川佐知子	アメリカの看護師と派遣労働－その歴史と特殊性	2015年7月	溪水社
	64	梅川 健	大統領が変わるアメリカの三権分立制－署名時声明をめぐる議会との攻防	2015年8月	東京大学出版会
	65	野口久美子	カリフォルニア先住民の歴史－「見えざる民」から「連邦承認部族」へ	2015年8月	彩流社
	66	武田 悠	「経済大国」日本の対米協調－安保・経済・原子力をめぐる試行錯誤、1975～1981年	2015年6月	ミネルヴァ書房
2015年度	67	平芳幸浩	マルセル・デュシャンとアメリカ－戦後アメリカ美術の進展とデュシャン変容の変遷	2016年7月	ナカニシヤ出版
	68	安井倫子	語られなかったアメリカ市民権運動－アファーマティブ・アクションという切り札	2016年6月	大阪大学出版会
	69	岩崎佳孝	アメリカ先住民ネーションの形成	2016年6月	ナカニシヤ出版
	70	新垣 拓	ジョンソン政権における核不拡散政策の変容と進展	2016年5月	ミネルヴァ書房
2016年度	71	齊藤孝祐	軍備の政治学－制約のダイナミクスと米国の政策選択	2017年6月	白桃書房
	72	宮田智之	アメリカ政治とシンクタンク－政治運動としての政策研究機関	2017年5月	東京大学出版会
	73	笠井俊和	船乗りがつなぐ大西洋世界－英領植民地ホストンの船員と貿易の社会史	2017年5月	晃洋書房
	74	杉野綾子	米国大統領の権限強化と新たな政策手段	2017年5月	日本評論社
	75	山本章子	米国と日米安保条約改定－沖縄・基地・同盟	2017年5月	吉田書店

(2017年度～2022年度)

助成年度		著者	著書	刊行日	出版社
2017年度	76	梅川 葉菜	アメリカ大統領と政策革新－連邦制と三権分立制の間で	2018年5月	東京大学出版会
	77	峯 真依子	奴隷の文学誌－声と文字の相克をたどる	2018年4月	青弓社
	78	戸田山 祐	ブラセロ・プログラムをめぐる米墨関係－北アメリカのゲストワーカー政策史	2018年8月	彩流社
	79	金 志映	日本文学の戦後と変奏されるアメリカ－占領から文化冷戦の時代へ－	2018年9月	ミネルヴァ書房
	80	長谷川珠子	障害者雇用と合理的配慮－日米の比較法研究	2018年8月	日本評論社
2018年度	81	上 英明	外交と移民－冷戦下の米・キューバ関係	2019年5月	名古屋大学出版会
	82	松永 京子	北米先住民作家とく核文学>－アポカリプスからサバイバンスへ	2019年5月	英宝社
2019年度	83	志田 淳二郎	米国の冷戦終結外交－ジョージ・H・Wブッシュ政権とドイツ統一	2020年5月	有信堂高文社
	84	宮本裕子	フライシャー兄弟の映像的志向	2020年6月	水声社
2020年度	85	荒木 圭子	マーカス・ガーヴィーと「想像の帝国」国際的人種秩序への挑戦	2021年5月	千倉書房
	86	堀 江里香	ハワイ日系人の歴史的変遷－アメリカから蘇る「英雄」後藤潤	2021年6月	彩流社
2021年度	87	長 史隆	「地球社会」時代の日米関係－「友好的競争」から「同盟」へ 1970－1980年－	2022年5月	有志舎
	88	富田 晃正	いまアメリカの通商政策に何が起きているのか？－反グローバル・アクターとしての労働組合の躍進－	2022年5月	ミネルヴァ書房
2022年度	89	前田真一郎	アメリカの金融システムと銀行業	2023年5月	有斐閣